

# 道路

## 七小通り踏切のつけかえ事業

原 邦彦議員(公ク) 七小通り踏切のつけかえ事業が今年度事業で計画されているが、安全確保へ万全を期した事業計画を強く要望したい。

事業計画はどのようなものか。

工事中の地域の交通渋滞や交通安全対策についてはどうがつけかえ後に都営大沼団地内を車両が抜け道として進入する不安があるが対策は。

PRの徹底が大事だと考えるが、どう取り組むのか。

市長 この秋ごろ工事に着手し、平成15年度の早い時期に七小通り踏切つけかえ予定地



期に工事を完了する予定である。道路交通に与える影響は少ないと考えている。地域には騒音等も含め迷惑をかけないよう十分な調整を図っていく。

## 教育・文化

### 障害児が校外活動に不安なく参加できるようにしたい

住田 景子議員(緑ネ) 車いす等の児童・生徒が遠足、社会科見学に行くときには介助員を

期に工事を完了する予定である。道路交通に与える影響は少ないと考えている。地域には騒音等も含め迷惑をかけないよう十分な調整を図っていく。

交通安全管理である小平警察署と協議しており、この結果に基づき対策を行っていく。

大変重要と考えており、市報への掲載や現地への看板の設置を行っていく。

野中通り一方通行部分の

拡幅整備の進捗

高橋 勇議員(フオ) 関係地権者への説明や交渉の経緯と現在の状況は。

防犯の観点からも早期に3か年実施計画案にのせるべきと考えるがどうか。

用地買収に係る地権者等の状況はどうなっているのか。

市長 平成4年度から用地取得を行ってきたが、14件について用地取得が困難となり、この状況のもと、平成11年度に道路整備工事を行った。その後、平成13年度に、未買収部分の関係地権者に相続が発生したことに伴い1件の用地取得を行った。

用地取得が実現した時点で早期に実施していきたい。

未買収地の地権者は13世帯で、面積は約12平方メートルである。用地の買収費用は2千5百万円ほどと予想しているが、さらに建物等の補償が必要となる。

つけているというが、障害児1人に介助員1人では坂を上るときなどは困難である。何人必要かは個々に異なるだろうが、それを調べ十分な対応を保障してほしいと考えるがどうか。

現状の対応はどうなっているのか。また、今後の対応はどうなるのか。

教育長 介助を必要とする児童・生徒が遠足や社会科見学に参加するときには、その児童・生徒の障害の程度に応じた移動行程の配慮や、十分な安全確保の必要があることから、教育委員会で学校長からの要請により、該当の児童・生徒1人に対して1人の介助員を派遣している。一時的に複数の人が必要となる場合には、他の教諭などの手をかりて対応している。

今年度の5月末までの遠足等において、7人の児童・生徒に介助員を1人ずつ派遣している。そのうち5人については保護者も同行しており、嘱託教諭 ボランティアを同行させ対応している学校もある。今後も学校の要請に基づき、同様の対応を考えている。

### 障害児の通常の学級への就学

桜田 誠議員(公ク) 文部科学省の就学基準の新規定について、市の考えは。

この新規定に対する国の公的補助はどのようになっているか。

教育長 医学の進歩等を踏まえ見直されたもので、改正前より基準に幅を持たせ実情に見合ったものになったと考えている。また、就学基準では養護学校等に進むことが適当な就学予定者でも、教育委員会が特別の事情があると認めれば、市町村の小・中学校に就学させるものもされた。これについては、環境面の整備や障害の状況等に応じて多角的で慎重な判断によって本人にとってどのような教育環境がふさわしいかを、適正就学の考え方に沿い対応していくべきものと考えている。

人的補助については、

子どもたちの土曜日の過ごし方についてかかわれるか

青藤 進議員(フオ) 完全学校週5日制が始まったが、市では、子どもたちの土曜日の過ごし方について認識しているか。

土曜日の補習講座等を子どもたちに活用してもらうにはどのような方が肝要と考えるか。

新しく始まる小・中学生の補習講座の体制と内容的内容は、学校同士の連携について計画は。土曜子ども広場の運営、実施状況はどのようになっているか。

教育長 完全学校週5日制の趣旨におおむね沿った過ごし方をしている認識している。指導に当たる人の経験を生かすものになると思われ。応募状況は小学生55人、中学生35人のことで、地域の有志による取り組みであり、各校と連携し支援する考えである。中央公民館で毎土曜日子どもたちの体験・交流の場として開設し、順調に推移している。学校週休2日で期待される地域の力にどの協力するのかが高藤 敦議員(フオ) 学校週5日制導入に当たり地域の力への期待もあるが、地域活動がしやすいのかの思いもある。資金面での支援はどのようなリールが適当かと考えているか。

子どもたちの土曜日の過ごし方についてかかわれるか

青藤 進議員(フオ) 完全学校週5日制が始まったが、市では、子どもたちの土曜日の過ごし方について認識しているか。

土曜日の補習講座等を子どもたちに活用してもらうにはどのような方が肝要と考えるか。

新しく始まる小・中学生の補習講座の体制と内容的内容は、学校同士の連携について計画は。土曜子ども広場の運営、実施状況はどのようになっているか。

教育長 完全学校週5日制の趣旨におおむね沿った過ごし方をしている認識している。指導に当たる人の経験を生かすものになると思われ。応募状況は小学生55人、中学生35人のことで、地域の有志による取り組みであり、各校と連携し支援する考えである。中央公民館で毎土曜日子どもたちの体験・交流の場として開設し、順調に推移している。学校週休2日で期待される地域の力にどの協力するのかが高藤 敦議員(フオ) 学校週5日制導入に当たり地域の力への期待もあるが、地域活動がしやすいのかの思いもある。資金面での支援はどのようなリールが適当かと考えているか。

ボスター掲示等、市報以外の広報の協力は期待できるか。

保存樹林地等の土地や施設の利用については、どのような支援、配慮が期待できるか。

公民館等の旧来の団体や定定期利用団体との調整は可能か。

教育長 事例や活動内容等に

応じ補助金の見直しを進めたい。ボスター等は、庁舎内等で可能な範囲で順次掲示している。

市報 保存樹林の場合は、自然観察等に利用してほしい。教育長 団体間で日程等が重なった場合は、各団体の話し合いで調整してもらっている。

### 学校図書館への専任職員配置等の改善

西 克彦議員(共産) 学校図書館の蔵書・数量を含めた改善、充実が叫ばれて久しく、専任職員の配置は特に切実であるが、この問題をどうとらえ、進めようとしているのか。図書館教育等の推進のなかに位置づけ、まず検討の場を設けてはどうか。市がこれまで専任職員を配置してこなかった理由は何か。

財政的理由とすればどのような試算に基づくのか。また、仮に2校に1名の専任司書職員を置いた場合の費用の試算は。教育長 蔵書整備は平成13年度から計画的に図っているが、専任の図書館司書の配置は考えていない。小平市学校図書館懇談会の場で、学校図書館指導計画や運営のあり方等の検討を深めていきたい。

学校図書館の管理運営は教諭が担当すべき業務であるとの認識による。また、市採用の正規職員を14人配置して小・中学校27校を分担したとすると、約1億2千6百万円程度と考える。

### 35人以上の学級には補助教員の配置を

橋本 久雄議員(緑ネ) 少人数学級の取り組みが全国で始まっている。ある程度市の予算を使っても取り組みが必要な時期にきている。小学校1年生の学級の平均人数が、最多校と最少校では19人の差がある等の教育環境の差は、是正されるべきである。緊急地域雇用創出特別交付金制度を使えば、市の負担は少ないのだから、緊急的な対応として制度を活用し、35人以上の学級に臨時職員を採用できないか。教育長 緊急地域雇用創出特別交付金制度は平成16年度までの暫定的な措置であり、児童・生徒への継続的・計画的学習指導を実施するには問題があり、制度の活用は特に考えていない。今後、東京都の教員加配制度の積極的な活用を進め、一層きめの細かい効果的な学習指導のあり方を研究していく。

### 不登校の子どもたちなどに関するきめ細かな対応を

木村 まゆみ議員(共産) 不登校児童・生徒数の推移は、また、それをどう見ているのか。現在、行っている施策は。今後についてはどうか。

あゆみ教室は中学生が主で小学生の行き場がないと聞くがどう考えているのか。あゆみ教室の移転とその後

の事業展開の予定は。スクールカウンセラー等の充実が望ましいが今後の方針は。パソコンを使っている学習支援

やマニュアルフレンド派遣など、市独自の事業を考えるべきと思うがどうか。

教育長 増減を繰り返しながら推移している。大きな課題と受けとめ対策を立てていきたい。相談活動等を実施しており、今後も充実を図っていく。小学生も希望があれば受け入れていく。

旧小川東小学校への移転が計画されており、具体的内容については、今後検討していく。来年度は中学校全校にスクールカウンセラーが配置される予定である。

金制度を使えば、市の負担は少ないのだから、緊急的な対応として制度を活用し、35人以上の学級に臨時職員を採用できないか。教育長 緊急地域雇用創出特別交付金制度は平成16年度までの暫定的な措置であり、児童・生徒への継続的・計画的学習指導を実施するには問題があり、制度の活用は特に考えていない。今後、東京都の教員加配制度の積極的な活用を進め、一層きめの細かい効果的な学習指導のあり方を研究していく。

### 学校の中は禁煙区域にしたい

住田 景子議員(緑ネ) 学校内をすべて禁煙にすべきと考えられているが、今の小・中学校の現状はどうなっているのか。

すべて禁煙にするよう働きかけてはどうか。

教育長 現在、学校内を全面禁煙としている小・中学校はないが、すべての学校で喫煙場所を指定しての分煙を行っている。なお、喫煙者のいない学校が小学校で3校ある。

学校の禁煙については個々の学校で取り組んでいるが、教育委員会としても、児童・生徒の喫煙防止や校内の健康的な環境づくりに十分配慮した対応を行うよう、各学校に働きかけていく。

### 花小金井小学校の施設

小林 雄雄議員(フオ) 花小金井小学校の防犯、防災の観点から、

南側校舎の東端に、非常階段が備わっていないが、

通学路として使用されているが、西武鉄道を渡る横断歩道橋に扉をつけられないか。

南側校舎1階の東側の教室が防災倉庫になっているが、教室そのものが使われている理由は何か。

教育長 南校舎東側は、建築当時、その後の増築を予定して非常階段を設置しなかったが、

将来増築を行う際には、非常階段または救助袋等の避難器具の設置を関係法令に基づき取り組んでいきたい。また、備わっているが、児童・生徒の日常の学校生活における安全性を考慮し、新たな取りつけは考えていない。

市長 花小金井小グラウンドはいつとき避難場所に指定されているが、防犯上の観点、最近の不安な社会情勢から、教育委員会と調整し検討していきたい。教育長 余裕教室の有効活用として、平成9年度から防災倉庫として使用許可しているが、児童数・学級数の増加から、来年度から本来の学校施設として使用する予定である。

### 小学校、中学校の防犯対策

永田 政弘議員(政和) 児童・生徒の安全をいかに守っていくかについて、全国的にさまざまな取り組みが行われているが、根本的な解決がないまま時が過ぎているように思っている。学校の防犯対策についてどう考えているのか。

学校の防犯対策の現状は、防犯対策の一助として、抑止力を持つ防犯カメラを設置すべきと思うがどうか。

教育長 防犯対策には保護者や警察など関係機関の協力・連携が不可欠と考えている。また、学校が地域に開かれ、子ども

の周りに地域の人が多数いることが、犯罪を未然に防ぐ力になると考えている。

委託業者による校内巡視の強化や地域関係者への協力要請など、具体的な対策を実施しており、施設面でも非常通報体制の整備や防犯ブザーの全教員への配付などを実施している。

引き続き研究していくが、当面は現在の各種防犯対策の強化徹底に努めたい。

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興

市スポーツ振興